

ことしの主な事業

町内の各家庭に個別受信機を設置する
防災行政無線整備事業を実施
 一般会計は前年度比5.7% 2億8343万円の増額



災害発生時に避難情報が受信機に届けられます

◎事業内容

・親局	1局
・基地局	2局
・移動系無線	30台
・屋外拡声子局	3局
・個別受信機	2500台

防災行政無線の整備 2億9810万円
 防災行政無線を現在のアナログ方式からデジタル方式へ変更する工事と合わせて、災害時に町民へ正しい情報を伝達し、安全な避難誘導などを行えるようにするため、町内各家庭へ防災行政無線の個別受信機を設置します。



大型免許取得者の確保が急務となっています

◎事業内容

・大型自動車免許	5名分
・大型特殊自動車免許	2名分
・大型自動車第二種免許	1名分

大型自動車免許 取得費用への助成 202万円
 大型自動車等の運転業務従事者の不足が町内で深刻化していることから、町内の事業所が従業員に大型自動車等の免許を取得させるための費用を負担する場合、事業所に対し対象経費の3分の2を上限に町が助成します。

その他の主な事業

- 職員住宅新築工事 職員住宅(1LDK)2棟 4戸の新築 7592万円
- 地区集会施設整備費補助金(漁村環境改善総合センター) 給水給湯設備や暖房設備等の改修工事に対する補助 715万円
- 佐呂間保育所エアコン設置工事 エアコンのない教室への設置工事 707万円
- 児童公園遊具更新工事 児童公園の滑り台・シーソーの更新 431万円
- 多面的機能支払交付金事業 農用地等の保全管理活動に対する補助 4966万円
- 道営畑地帯総合整備事業(若佐地区) 実施設計、送水管敷設 9381万円
- 夕陽が丘道路改良舗装工事 改良舗装140m 2557万円
- 長寿命化修繕事業 橋梁23橋の点検及び共立橋の補修 4750万円
- 富武士漁港公衆トイレ改修工事 外壁・屋根の改修及び和式便器の洋式化 265万円
- 漁港修築事業地元負担金 浜佐呂間漁港の維持保全等 3173万円
- 地場産品開発研究センター 蒸気ボイラー取替 548万円
- 富武士漁港公衆トイレ改修工事 外壁・屋根の改修及び和式便器の洋式化 265万円
- 漁港修築事業地元負担金 浜佐呂間漁港の維持保全等 3173万円
- 地場産品開発研究センター 蒸気ボイラー取替 548万円
- 夕陽が丘道路改良舗装工事 改良舗装140m 2557万円
- 長寿命化修繕事業 橋梁23橋の点検及び共立橋の補修 4750万円
- 富武士漁港公衆トイレ改修工事 外壁・屋根の改修及び和式便器の洋式化 265万円
- 漁港修築事業地元負担金 浜佐呂間漁港の維持保全等 3173万円
- 地場産品開発研究センター 蒸気ボイラー取替 548万円
- 浜佐呂間小学校改修工事 校舎及び体育館の屋根・外壁塗装など 1525万円
- 浜佐呂間第3団地外壁等改修工事 外壁・サッシ等を改修 1882万円

特集 まちの予算をみる

令和2年度 当初予算

令和2年第1回定例会において、次の当初予算が提案されました。

- 令和2年度一般会計予算
- 令和2年度簡易水道特別会計予算
- 令和2年度国民健康保険特別会計予算
- 令和2年度公共下水道特別会計予算
- 令和2年度介護保険特別会計予算
- 令和2年度介護サービス事業特別会計予算
- 令和2年度後期高齢者医療特別会計予算

提案された各会計予算について、議長を除く9名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、付託して審議を行うことを決め、6日に開催された特別委員会では委員長に但木委員、副委員長に船木委員を選任し、9日に集中審議を行った結果、原案可決となりました。

その後、11日の本会議において、但木委員長より審査結果報告がなされ、採決の結果、原案のとおり可決いたしました。

予算特別委員会 3月6日・9日

令和2年度 各会計当初予算

会計区分	2年度当初予算	元年度当初予算	対前年度増減額	増減率	
一般会計	52億1561万円	49億3218万円	2億8343万円	5.7%	
特別会計	簡易水道	3億5321万円	4億6585万円	▲1億1264万円	▲24.2%
	国民健康保険	8億9052万円	8億2716万円	6336万円	7.7%
	公共下水道	2億4290万円	2億2533万円	1757万円	7.8%
	介護保険	5億2412万円	5億2621万円	▲209万円	▲0.4%
	介護サービス事業	2億5896万円	2億6236万円	▲340万円	▲1.3%
	後期高齢者医療	9137万円	9194万円	▲57万円	▲0.6%
合計	75億7669万円	73億3103万円	2億4566万円	3.4%	

予算特別委員会 委員長報告 (要旨)

令和2年度予算について、最小の経費で最大の効果が図られる施策・事業となっているが、前年度決算の意見が反映されているかなどに重点をおき、審査を行いました。

歳入については予算の42%を占める地方交付税が増額、町税も農林水産業の好調を受け、前年度から増額となっておりますが、収支のバランスは各種基金の繰り入れにより図られているのが実情です。

歳出については新たな行政課題も考慮し、事業の必要性・妥当性に十分な配慮がなされています。

地方が自らの判断と責任において課題に取り組み、住民の営みを豊かにすることは当然ですが、緊急性・将来性・効率性などの精査を行い、安定的な財政運営と安全で安心な町づくりを願うものであります。

第1回定例会

・特集 まちの予算をみる

保健福祉課参事 新型コロナウイルスに関する対策として、利用者施設へ来られたとき、また施設から迎えに行く利用者については迎えに行った際に体温検査を行っています。

その他にも利用者に対しては、マスクの着用と手洗いがいの励行、調子の悪い方や熱のある方には利用を控える

新型コロナウイルス対策

各地域で1人暮らしをしている約230世帯に対し、社会福祉協議会が月に1回発行しているふれあい郵便を民生委員が訪問して手渡しすることで、安否確認や相談事の聞き取りを行うなどの活動を行っています。

佐藤 クリニックさろまに要する経費に関連して伺いますが、現在クリニックさろまに通院している高齢者の中には薬を処方してもらっただけでいいという方もいると思えます。

患者がクリニックさろまに行かなくても、医師の処方箋をFAXなどで薬局に送ってもらい、患者は薬局に取りに行くだけだったり、薬局から患者のところへ薬を郵送して

衛生費

佐藤 体調が悪いためデイサービスを休んでいる方へ、訪問してのケアなどは行われていますか。

保健福祉課参事 デイサービスの利用者にはそれぞれケアマネージャーが付いていますので、そちらで対応しています。

ように指導しています。

副町長 患者がクリニックさろまに行かなくても薬の処方箋を出してもらえないかということですが、今新型コロナウイルス対策として、特別な場合はそのような対応を取るようにとの通知が国から来ています。

ただしこれはあくまでも例外であり、どうしても必要な方はまずクリニックさろまへ電話をしていただき、その方がこの対策に該当するのかわ



利用者の視点に立った薬局の利便性の向上が求められています

もらうような対応はできないのでしょうか。

高橋 町道等除雪業務委託料については、本年度は降雪が少なかったため請負業者による除雪の出動回数も少なくなり、委託料収入が入ってこなかった請負業者が苦しい状況であると聞いています。

来年度以降、除雪出動が少なくなってしまう場合の請負業者への対応をどのように考えているか伺います。

土木費

断した後、院長がこのような対応ができる患者かどうか判断する必要があります。

現在クリニックさろまでは患者本人が病院に行けない場合、家族の方（施設入居者）については施設の職員に代理で来てもらい、患者の状態を聞いて薬の処方箋を出すという対応を行っていますので、まずはこの方法で対応できないか検討していただきたいということです。

第1回定例会

・特集 まちの予算をみる

3月9日に開催した予算特別委員会で、令和2年度予算に関する質疑が行われました。

(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

令和2年度予算の使い道を徹底審議!

予算特別委員会質疑の中から

総務費

役場庁舎の電気契約

佐藤 役場庁舎の光熱水費の予算について、電気は北海道電力から購入しているのでしょうか。

総務課長 北海道電力を含めた複数の電力会社で見積もり合わせを行い、最も安価だった王子・伊藤忠エネクス電力販売株式会社から現在購入しています。

佐藤 新聞報道等で北海道電力の価格は高いと言われていますが、現在の会社と比較してどの程度違いがありますか。

総務課長 電気使用量によって一概には言えませんが、当初の比較では7〜800万円の差がありました。

今後とも状況を見ながら契約先を決定していきます。



庁舎は電力会社の見直しやLED化により節電に努めています

JR石北線の今後

船木 北海道鉄道利用促進環境整備石北線支援負担金として10万円が計上されているが、石北線は赤字が多く、今後この支援額は増えるのか。

ていくのか状況を教えてください。

企画財政課長 この負担金はJR北海道の赤字補填のためではなく、鉄道の利用促進事業として北海道と鉄道沿線の市町村が総額2億円をJR北海道に対して負担するもので、オールドホーツクで負担しようということ、JR北海道を利用する市町村としない市町村で負担割合は違いますが、管内の全市町村で負担をしています。

なお、この負担金は令和元年度から2年間のみの措置であります。

船木 負担金の措置が終わる2年後、石北線は存続しているのか、今後について何か聞いていないですか。

企画財政課長 今後、北海道は赤字補填は行わずに、国に負担を求めていくと言われ

民生費

民生委員の活動状況

加賀屋 民生委員協議会運営費補助金について、民生委員は現在何名おられる、どのような活動をされているのか伺います。

保健福祉課長 民生委員は現在25名おり、児童の問題に対応する主任児童委員2名を含め、全27名の委員で協議会は組織されています。

基本的に2ヶ月に1回協議会を実施し、その中で委員間の情報共有を行っている他、

第1回定例会

第1回定例会

2名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

・一般質問①

・特集 まちの予算をみる

一般質問

【質問】 資源ごみの空き缶・ペットボトルの収集は現在月1回行われていますが、夏場は様々な産業で野外での作業が多くなり、飲料の消費が増加するため収集量も増加することから、各家庭でごみを蓄積しなくてもいいように、収集を月に2回にすることはできないでしょうか。

その他プラスチックは月に2回収集していますが、遠軽地区広域組合の資料によると令和元年度の収集量は平成29年度と比べると減少しておりますが、その他プラスチックの2回目の収集日に出されている量は少ないことから、一緒に空き缶やペットボトルの



三田 真美 議員

資源ごみの収入について

回収を行うことを、ゴミ収集委託業者と検討することはできないか伺います。

【答弁】(町長) 平成29年10月に燃やすゴミの焼却施設である遠軽クリーンセンターが稼働したことから、汚れの落ちないその他プラスチックは燃やすゴミとして処理することになったことから、燃やすごみの収集量が増加し、資源ごみの収集量は減少しています。

現在「ゴミ」の収集はじんかい収集車2台、トラック2台、収集人員6名で行っており、これまでも遠軽クリーンセンター稼働後のごみ収集について見直しを協議してきましたが、現在の体制では資源ごみ

その他プラスチックの収集量が減少した分、空き缶・ペットボトルの収集回数増加を町長：現在の収集体制では収集回数の増加はできない

の収集見直しはできないことから、これまでと同様の対応をお願いいたします。

【答弁】(町民課長) ごみの収集体制や状況については、常に委託業者と打ち合わせをしていますが、現在は委託業者で収集人員の確保ができない状況にあり、資源ごみ収集の見直しは人員的に難しいと聞いております。

公共施設のエアコン設置について

【質問】 令和2年度当初予算の中で、児童館プレイルーム、佐呂間保育所の一部教室、特別養護老人ホームのロビー、佐呂間小学校パソコン室にエアコンを設置する各事業が計上されていますが、今後の地球

【答弁】(町長) エアコンは限られた公共施設のみ設置されていましたが、地球温暖化対策として令和2年度は多くの施設に設置することにいたしました。

計画的なエアコンの設置について現状では予定しております、その都度検討してまいります、たいと考えています。

【答弁】(町民課長) 佐呂間町漁村環境改善総合センターについては昨年佐呂間漁組へ無償譲渡しており、今回の補助事業は工事の内容等についても佐呂間漁組の要請により実施するものです。

エアコン設置については今後要請があれば、そのときに協議してまいります。



この冬は降雪が少なく除雪作業があまり行われませんでした

【船木】 高橋委員の質問に関連して伺いますが、札幌市では除雪作業が少なかつたことに対する請負業者

建設課長 本年度は降雪があまりにも少なかったため、町道の除雪請負業者から町に対し補償の要望がありました。そこで町としては町内の除雪体制を維持するため、過去5年間の除雪出動時間の平均の6割に当たる委託料を補償することにしました。

来年度以降についても同じ考えで対応していきたいと考えています。

教育費

小学生学習サポート事業

【三田】 小学校費に関連して伺いますが、令和元年度教育行政推進方針の中で、小学生の家庭学習を支援する学習サポート事業を実施するとありましたが、本年度の実績と令和2年度も継続していくのか伺います。

管理課長 令和元年度の実績ですが、参加希望者は43名で、全9回開催する予定でしたが実際は7回の開催となり、1回の平均参加者は25名でありました。

への支援として、事業費の約8割を補償すると聞いていますが、本町は6割の補償で間に合うのでしょうか。

副町長 補償の割合については、オホーツク管内の状況、他の自治体の事例などを調べて検討した結果であり、各請負業者にも納得していただいています。

本事業は令和2年度も継続して実施したいと考えています。

「小学生学習サポート事業」 町内の各小学校の児童を対象に、家庭学習の習慣化とスマートフォンなどのデジタル機器から離れネット依存を未然に防ぐことを目的に、概ね毎月1回第1土曜日の午前中に、町民センターにおいて学習会を開催する事業です。

3時間に分かれており、1時間目は教師や高校生のサポートを受けて、児童が持参した学習道具を用いた学習、2時間目は町の語学指導助手による英会話、3時間目は読書が行われています。

若佐小学校のスケートリンク造成

【加賀屋】 若佐小学校のスケートリンク造成費補助金として30万円が計上されていますが、ブルームボールのリンク造成費補助金60万円と比較すると小額です。造成作業にはPTAが自前の機械を出し、燃料代も負担

しているため、もう少し増額することはできないでしょうか。

教育長 ブルームボールのリンク造成には、リンクを囲む壁などに関する費用がかかるため、より高額になっていきます。

PTAが負担している機械や燃料に関する経費は30万円の補助金の中に含まれていますが、この補助金額では造成が難しく、実際にこれだけの経費がかかっているため検討してほしいという要望がPTAからありましたら、協議はしたいと考えています。



PTAの努力により整備されている若佐小スケートリンク